

分 類：臨床医学Ⅴ(CC1)
授 業 科 目 名：小児科学 臨床実習 (Pediatrics)
対 象 学 年：5年次 必修
時間割コード：71643002-14

1. 主任教員

豊野学朋 (准教授、小児科学、6158)

2. 担当教員

豊野学朋 (准教授、小児科学、6158)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. ねらい

チームの一員として病棟や外来患者さんへの診療を通して、将来、どのような分野の医師にも必要な小児科領域を中心とした症候や病態の臨床推論、鑑別診断、検査・治療方針決定等の実践力を習得する。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法(制度)、EBMについて学ぶ。

2. 概要 (大まかな学習目標 (項目))

- ・患者および保護者と良好な人間関係を確立できる。(2-1～2-8)
- ・問題解決に必要な情報を適切に収集できる。
 - * 患者および保護者から必要な身体的・精神的・社会的情報を得ることができる。(2-1～2-8)
 - * 患者および保護者の立場を考慮しつつ、視診・聴診・触診・打診等により必要な情報を得ることができる。(2-1～2-8, 4-1～4-2)
- ・収集した情報を適切に記載し、問題点を把握できる。(2-1～2-8, 3-1～3-7)
- ・問題解決のための診断・治療計画を立案できる。(4-2)
- ・小児科における特性を理解し、実践することができる。
 - * 年齢による疾患の特殊性を理解する。(3-2～3-4)
 - * 検査結果の年齢による違いを解釈できる。(3-3, 4-2)
 - * 小児における診療技術の特殊性を理解する。(4-3)
 - * 乳幼児健康診査や予防接種への参加を通じ、正常小児の成長発達および子どもの健康支援と予防医療の重要性を理解する。(3-4, 4-8)
- ・適切なプレゼンテーションができる。
 - * 症例を適切に要約し、場面に応じて提示できる。(2-4, 4-5)
 - * 問題提示に対して、他者と適切な討論ができる。(2-5)
 - * 文献検索等を通じ、問題解決のための資料が作成できる。(4-5)

1) 病棟実習

各学生は4つの診療チーム(総合、循環器、新生児、血液・腫瘍)のいずれかに2週間配属され、指導医のもと数名の病棟患者さんを担当する。指導医の監督の下に、日々、病棟担当患者さんの回診を行い、病状や身体所見をカルテに記載する(指導医の確認必須)。医療面接や身体診察による課題抽出、文献検索による臨床推論、検査・治療方針の提案、カンファランス時等の各種プレゼンテーション、患者・家族への説明への参加など、チームの一員としてEBMに基づいた基本的な診療を実践的に学ぶ。

2) 外来実習・各種検査など

このような病棟の担当患者診療の合間には、外来の新患、再来患者さんの診療や、各種の検査・治療に参加しながら、診療チームの一員として臨床推論・検査・治療の過程を実践的に学ぶ。

3. (詳細な)学修目標

1) 症候・病態 臨床推論 (3-1～3-2)

発熱、全身倦怠感、食思(欲)不振、体重減少・体重増加、ショック、心停止、意識障害・失神、けいれん、めまい、脱水、浮腫、発疹、咳・痰、血痰・喀血、呼吸困難、胸痛、動悸、胸水、嚥下困難・障害、腹痛、悪心・嘔吐、吐血・下血、便秘・下痢、黄疸、腹部膨満(腹水を含む)・腫瘍、貧血、リンパ節腫脹、尿量・排尿の異常、血尿・タンパク尿、月経異常、不安・抑うつ、もの忘れ、頭痛、運動麻痺・筋力低下、腰背部痛、関節痛・関節腫脹、外傷・熱傷

2) 基本的臨床手技 (3-3, 4-2, 4-6)

体位交換, 移送, 皮膚消毒, 外用薬の貼付・塗布, 気道内吸引, ネブライザー, 静脈採血, 末梢静脈確保, 胃管挿入, 尿道カテーテル挿入・抜去, 注射(皮内・皮下・筋肉内・静脈内), 診療記録, 小児からの採血, カニューレ交換, 浣腸

3) 検査・治療手技 (4-2)

脳波検査(判読), 筋電図, 眼球に触れる検査, 超音波検査(判読), X線検査, CT・MRI・核医学・内視鏡検査, 尿検査, 血液塗抹標本の作製と観察, 微生物学的検査(グラム染色を含む), 妊娠反応検査, 超音波検査(心臓血管・腹部), 心電図, 経皮的酸素飽和度モニター, 病原体抗原の迅速検査, 簡易血糖測定, アレルギー検査(塗布), 発達テスト, 知能テスト, 心理テスト, 処方薬(内服薬)・注射・点滴などのオーダー, 食事指示, 安静度指示, 定型的な術前・術後管理の指示, 酸素投与量の調整, 診療計画の作成, 健康教育

4) 医学行動科学, 医療倫理, 医療安全, 医療法(医療制度), EBM (3-5～3-7, 4-4)

- (1) 治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。
- (2) 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。
- (3) 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。
- (4) どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

Nelson Textbook of Pediatrics, Oski's Essential Pediatrics

5. 成績評価の方法

実習態度、レポート

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

実習初日は8時20分よりオリエンテーション(小児科医局横の共用室、事前に要確認)
アフタヌーンカンファランス(各実習期間内に1回)に参加し、医師とともに考え、学ぶ。

小児科学 臨床実習

授 業 展 開		授 業 内 容
第 1 回	月曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 2 回	火曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 教授回診、入退院カンファレンス 16:00-17:00 病棟実習 17:00-18:00 外科との合同カンファレンス（該当例のある時のみ）
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 3 回	水曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 4 回	木曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 5 回	金曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 午後は医学医療総合講義
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 6 回	月曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 7 回	火曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 教授回診、入退院カンファレンス、アフタヌーンカンファレンス 16:00-17:00 病棟実習 17:00-18:00 外科との合同カンファレンス（該当例のある時のみ）
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 8 回	水曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 9 回	木曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 病棟実習 13:30-16:00 臨床講義及び自習 16:00-17:00 病棟実習
副題	臨床実習	
担当	全教員	
第 10 回	金曜日 [8:30 - 17:00]	8:30-12:00 レポート発表及び討論 午後は医学医療総合講義
副題	臨床実習	
担当	全教員	